

◆間接法 (単位省略)

【例題】

以下の資料に基づき、【解答欄】にある()に語句と数値を記入しなさい。
 なお、必要な場合は、▲の符号も付すこと。

貸借対照表

借方	前期末	当期末	貸方	前期末	当期末
売上債権	3,000	2,500	仕入債務	1,800	2,200
棚卸資産	2,400	3,000	貸倒引当金	60	50

損益計算書

借方	金額	貸方	金額
売上原価	13,200	売上高	16,500
棚卸減耗費	150	償却債権取立益	150
貸倒引当金繰入	50		
貸倒損失	40		
当期純利益	3,210		
	16,650		16,650

【解答欄】

キャッシュ・フロー計算書

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

() 当期純利益 ()
 貸倒引当金の() ()
 売上債権の() ()
 棚卸資産の() ()
 仕入債務の() ()
 小計 ()

【解答】

キャッシュ・フロー計算書

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

(税引前) 当期純利益	(3,210)
貸倒引当金の(減少額)	(▲ 10)
売上債権の(減少額)	(500)
棚卸資産の(増加額)	(▲600)
仕入債務の(増加額)	(400)
小計	(3,500)

【間接法解法】

貸借対照表

借 方	前 期 末	当 期 末	貸 方	前 期 末	当 期 末
売 上 債 権	3,000	2,500	仕 入 債 務	1,800	2,200
棚 卸 資 産	2,400	3,000	貸 倒 引 当 金	60	50
	(+)	(-)		(-)	(+)

※ 貸借対照表項目の(+)(-)はキャッシュ・フロー計算書小計への影響を表している。

∴ 金額の計算方法：B/S外側(+)^{の金額}－B/S内側(-)^{の金額}（資産・負債共通）

※ 増減の表示方法：前期末<当期末の場合は増加額。前期末>当期末の場合は減少額。

損益計算書

借 方	金 額	貸 方	金 額
売 上 原 価	13,200	売 上 高	16,500
棚 卸 減 耗 費	150	償 却 債 権 取 立 益	150
貸倒引当金繰入	50		
貸 倒 損 失	40		
当 期 純 利 益	3,210		
	16,650		16,650

キャッシュ・フロー計算書

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前当期純利益	3,210
貸倒引当金の減少額	▲ 10 (= 50－60)
売上債権の減少額	500 (= 3,000－2,500)
棚卸資産の増加額	▲600 (= 2,400－3,000)
仕入債務の増加額	400 (= 2,200－1,800)
小計	3,500

◆直接法(単位省略)

【例題】

以下の資料に基づき、【解答欄】にある()に語句と数値を記入しなさい。
 なお、必要な場合は、▲の符号も付すこと。

貸借対照表

借方	前期末	当期末	貸方	前期末	当期末
売上債権	3,000	2,500	仕入債務	1,800	2,200
棚卸資産	2,400	3,000	貸倒引当金	60	50

損益計算書

借方	金額	貸方	金額
売上原価	13,200	売上高	16,500
棚卸減耗費	150	償却債権取立益	150
貸倒引当金繰入	50		
貸倒損失	40		
当期純利益	3,210		
	16,650		16,650

【解答欄】

キャッシュ・フロー計算書

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

() ()

仕入支出 ()

小計 ()

【解答】

キャッシュ・フロー計算書

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

(営業収入) (17,050)

仕入支出 (▲13,550)

小計 (3,500)

※ 仕入支出の正式な表示科目は、『(原材料又は)商品の仕入れによる支出』である。

【直接法解法】

貸借対照表

借 方	前 期 末	当 期 末	貸 方	前 期 末	当 期 末
売 上 債 権	3,000	2,500	仕 入 債 務	1,800	2,200
棚 卸 資 産	2,400	3,000	貸 倒 引 当 金	60	50
	(+)	(-)		(-)	(+)

損益計算書

借 方	金 額	貸 方	金 額
売 上 原 価	13,200	売 上 高	16,500
棚 卸 減 耗 費	150	償却債権取立益	150
貸倒引当金繰入	50		
貸 倒 損 失	40		
当 期 純 利 益	3,210		
	(-)		(+)

※ 勘定の作成・集計に代えて営業損益項目の(+)(-)に貸借対照表項目の(+)(-)を加減すれば、簡単に営業収入・仕入支出を得ることが出来る。

※ 営業収入・仕入支出は集計項目が多いので、対象を予めマーカーで色分けしておく。

キャッシュ・フロー計算書

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業収入 17,050 (= 3,000 - 2,500 + 50 - 60 + 16,500 + 150 - 50 - 40)

仕入支出 ▲13,550 (= 2,200 - 1,800 + 2,400 - 3,000 - 13,200 - 150)

小計 3,500

※ 仕入支出は属性が▲なので、集計に際し±に注意を払う必要がある。よって、正確な計算を期す為に、B/S項目を±した後でP/L項目を▲する手順に準じている。

※ 直接法：営業収益・営業費用(原因) ± B/S項目 → 営業収入 - 仕入支出 = 小計

間接法：税引前当期純利益(結果) ± B/S項目 = 小計

◆参考：勘定記入と営業収入・仕入支出

【資料】

貸借対照表

借方	前期末	当期末	貸方	前期末	当期末
売上債権	3,000	2,500	仕入債務	1,800	2,200
棚卸資産	2,400	3,000	貸倒引当金	60	50

損益計算書

借方	金額	貸方	金額
売上原価	13,200	売上高	16,500
棚卸減耗費	150	償却債権取立益	150
貸倒引当金繰入	50		
貸倒損失	40		

【勘定記入と営業収入・仕入支出】

売上債権

前期末	3,000	当期末	2,500
売上高	16,500	貸倒引当金	60
		貸倒損失	40
		現金預金	16,900

貸倒引当金

当期末	50	前期末	60
売上債権	60	貸倒引当金繰入	50

営業収入 17,050 (= 償却債権取立益 150 + 現金預金 16,900)

棚卸資産

前期末	2,400	当期末	3,000
仕入債務	13,950	売上原価	13,200
		棚卸減耗費	150

仕入債務

当期末	2,200	前期末	1,800
現金預金	13,550	棚卸資産	13,950

仕入支出 ▲13,550 (= 現金預金 13,550)